

七  
七  
七

Mr. K. L. Lee 11-11-1900  
The "Kings" were up to 11-11-1900  
The "Kings" were up to 11-11-1900  
The "Kings" were up to 11-11-1900

六老氣と益々高まりしめること  
仕事と年物に介意する事と 駿K底帯の仕事と人手を増し川端辰小川老Kも  
う少し休養と樂えること 固直の老氣と高からしめ裏物者と出されないことは会社  
は地財K立をなれること 五水岸織革の社員の固執業者と併ひたるとは業者固く  
同様もあらずとおもて 徒事K会社の沿來K対し見込なしと見た事など力籠じて裏切者  
を防ぐこと

六明朝(一五九)建廟玉時より九月迄で会社の周囲の大ビルケチングを有ふること 九月  
以後ヒュームのビルケチングは既前通り養備隊と青年部員とで表四名裏四名日毎日滑  
走者者の差入、昔は下4の事務室とあるモーフル委員と作らる  
皆ム下4事務室とあってこの部長が出入行くなり漏當公私ツ士をモリカイ自由裁量K  
依つて行ふこと

四事務委員会と並んで三級組織にする事と

其又制者と最重視つて次制者を歩かくすることと 駿K翁内院長K義金ナカニ  
不景氣の青年部員を、なまく内部から翁家と起といふこと  
七五日小遣二間の直後萬次社員の私窓新開を行ふこと  
八越通K組織的勇氣K大胆K行動を行ふこと

後日明朝指令と出す

指揮 六月五日刻九時

大至急某所多村屋敷第乳源入大演説会を開催すること  
の出来事より思ふ 金場山第一大演説会 松翁12歳も已去と謂す 煙波会当夜は大  
演説會と行ふこと 煙波会当夜は大演説して石揚と訓の場所に赴きし  
て午後の九時を期して 煙波會が折り金場山に出でてと金場大  
演説會松翁大

行を防ひ二七) 之に大變事務官の職務の